※令和４年度以降入学生用

学校番号	1204

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・色彩の学習では、白、黒、三原色の５色だけを用いて 12 色相環やトーン表を作成していきます。実際に自分で混色し、色づくりをしていきますので、体験的に色について理解できるようになります。
・「絵画」「彫刻立体」「デザイン」「版画」「金属工芸」など幅広い美術の表現分野の基礎的な内容を学習します。それぞれの分野の基礎的な技法や表現方法を習得しつつ、自分らしい自由な発想も大事にしていきます。
・自分の作品について、表現の意図を他者に伝えることや他者の作品についても理解を深め、そのよさを共有することなど、「鑑賞」の時間も大切にします。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）　対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
（２）　造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
（３）　主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	題材名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	オリエンテーション	**「美術の学び」** ・小中での図工・美術の学びを振り返り、美術Ⅰの学習活動のイメージをつかむ。 **「言葉で伝える」** ・窓からの風景を見て感じることを言葉で伝える。 **「私の NO.1」** ・教科書から NO.1 と思う作品を選び、紹介する。多様な表現形式について知るとともに、「美術Ⅰ」の学習イメージをつかむ。	b：(発想や構想) 日常の風景や美術作品などのよさや美しさを感じ取り、他者に伝えることができる。 c:中学校での学びを主体的に振り返り、これからの学習への準備に積極的に取り組むことができる。 c:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習や制作に対して意欲を高めている。		ワークシート	活動の様子 ワークシート 学習の記録簿
	鉛筆で描く	【絵画】 **「外枠を生かして」** ・画用紙に描かれた外枠をいかしてイメージ豊かに発想し、鉛筆で表現する。	a:(知識・技能) 鉛筆の特性を生かして、濃淡など工夫して表現している。 b:(発想や構想) イメージ豊かに発想し、モチーフ選びや構成など独創的、創造的に構想し、表現している。 c:(表現) 多様な表現に興味を持ち、形体や構成など自分の世界を追求しようとしている。	作品	作品 完成レポート	活動の様子 完成レポート 学習の記録簿

※令和４年度以降入学生用

	色彩の基礎（色の三原色、色の三属性とトーン）・わたしの四季	【デザイン】【鑑賞】 ・色彩の基本的事項（色の三原色、色の三属性とトーン）を学ぶ。 ①三原色を用いて 12 色相環を作成する ②三原色と白と黒を混色し、指定されたトーン表を制作する。 **「わたしの四季」** ①画面分割を考える。 自然界から見つけた美しい形から発想を深め、デザインした型紙シートを用い、画面分割する。 ②色彩計画 それぞれの季節のイメージから構想し、色の三属性やトーンの知識を活用して配色を考え、アクリル絵の具で彩色表現する。 ③完成レポート ④鑑賞ワークシート	a:(知識) 色彩の基本的事項を理解し、色彩やそれらが感情にもたらす効果を考え、色彩構成している。 a:(技能) アクリル絵の具の特性を生かし、条件や色彩計画を基に、ムラなく美しく着色している。 b:(発想や構想) それぞれの季節から受けるイメージをもとに発想を深め、 条件や色彩の効果を考え、色彩計画を練っている。 b:(鑑賞) 他者の作品を鑑賞し、制作の意図や表現の工夫について、色彩の基本的事項の知識を活用し、説明することができる。 c:(表現) 四季のイメージを色彩で表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら主体的に構想を練ったり、表現しようとしている。 c:(鑑賞) 色彩の基本的事項の知識を生かしながら、作者の表現の意図を感じ取る鑑賞活動に主体的に取り組もうとしている。	作品 完成レポート 鑑賞 ワークシート	ワークシート アイデア スケッチ 作品 完成レポート 鑑賞 ワークシート	活動の様子 ワークシート 完成レポート 鑑賞 ワークシート 学習の記録簿
二学期	絵巻物とアニメーション	【鑑賞】 ①絵巻物について ②「頭山」DVD 鑑賞	a:(知識) 日本の伝統的な表現の特質や様式、主題や表現方法、日本の美術文化について理解を深めている。 b:(鑑賞) 作品の主題やよさを感じ取り、得た知識を活用しながら、自分の見方や感じたことを説明している。 c:(鑑賞) 日本の伝統的な美術の表現の特質に関心を持ち、絵巻物の表現の面白さや表現の特徴を感じ取ろうとしている。	鑑賞 ワークシート	鑑賞 ワークシート	活動の様子 発言の内容 鑑賞 ワークシート 学習の記録簿

※令和４年度以降入学生用

	立体に描く　「カメレオンピーマン」	【彫刻立体】【絵画】【鑑賞】 **「カメレオンピーマン」** ①鉛筆デッサン ②造形　「本物そっくり」 石粉粘土でピーマンをよく観察し、本物そっくりにつくる。 ③アイデアスケッチ 「わたしの好きな〇〇」 自分の好きな風景や模様、テーマなどから着色計画を立てる。 ④着色 、ニス塗り 鉛筆で直接下描き後、アクリル絵の具で着色する。 ⑤撮影 主題の意図に応じて決めた場所（校内）に作品を置き、デジタルカメラで撮影する。 ⑥完成レポート ⑦相互鑑賞	a:(技能) モチーフをよく観察し、造形している。 a:(技能) 粘土やアクリル絵の具、用具や機材の特性を理解し、意図に応じて表現方法を工夫し、表している。 a:(知識・技能) カメラの扱い方や表現効果を理解し、意図する効果に基づいて操作することができる。 b:(発想や構想) 与えられたテーマを追究し、自分らしい表現は何かを考えながら主題を生成し、アイデアを練ることができる。 b:(発想や構想) 決定した主題から発想を深め、配色や彩色方法について創造的に表現の構想を追求している。 b:(発想や構想) カメラの視覚効果を考え、構図を選択し、心豊かに表現する構想を練っている。 c:(表現) 表現することに関心を持ち、制作や鑑賞の活動に主体的、積極的に取り組もうとしている。 c:(鑑賞) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図を考える鑑賞活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品と 写真 完成レポート 鑑賞 ワークシート	ワークシート アイデア スケッチ 作品と写真 完成レポート 鑑賞 ワークシート	活動の様子 完成レポート 学習の記録簿

※令和４年度以降入学生用

二・三学期	金属工芸「ペーパー鋳型アクセサリー制作」	【デザイン】【工芸】 **「ペーパー鋳型を使ったアクセサリー制作」** ①ペーパー鋳型について 技法の特性とデザインの制約、制作の進め方を理解する。 ②アイデアスケッチ 自然界から美しい形を見つけ、デザインの制約をふまえてデザインを考案する。 ③ペーパー鋳型制作 条件をふまえ、鋳型を制作する。 ④整形、磨き ニッパー、紙やすり等を使い、磨く。 ⑤刻印、パーツつけ メッセージを刻印し、用途に応じたパーツをつける。 ⑥完成レポート	a:(知識・技能) 素材や用具の特性を理解し、制作の順序などを総合的に考えながら見通しをもって合理的に制作を進めることができる。 b:(発想や構想) ・使う人をイメージし、その人らしさや目的にあうデザインを自然界から見つけた美しい形を主題に考察している。 b:(発想や構想) 素材と技法のデザイン上の制約をふまえ、創造的に構想を練っている。 c:(表現) 自分の作品についてデザインの意図や表現のこだわりを明確にして主体的に制作に取り組もうとしている。 c:(鑑賞) 他者の作品のよさや美しさなどを積極的に感じ取ろうとしている。	アイデアスケッチ 作品 完成レポート	アイデアスケッチ 作品 完成レポート	活動の様子 学習の記録簿

※令和４年度以降入学生用

三学期	版で表す「ステンシル技法によるペーパーバッグ制作」	【版画】【鑑賞】 **「作品を持ち帰るマイバッグをデザインしよう」** ①ステンシル技法について 技法の特性と制作手順を理解する。 ②アイデアスケッチ デザインを検討する。 ③制作 デザインをシートに転写し、切り抜く。 ④着色 型紙の配置や効果的な色彩計画を検討し、着色する。 ⑤発表と鑑賞	a:(知識) ステンシル技法について、技法の特性や手順を理解し、色の効果を考え、着色計画を検討することができている。 a:(技能) 材料や用具の特性を理解し、表現のこだわりや意図に応じて、合理的に制作がすすめられている。 b:(発想や構想) 目的と自分らしさを追求したデザインであり、ステンシル技法のもつ表現の制約をふまえた構想になっている。 b:(発想や構想) 版の配置や色の組み合わせを工夫し、創造的で合理的な表現となっている。 b:(鑑賞) 自分の作品について表現の意図と表現の工夫を明確にし、美術の専門用語を用いながら説明することができる。 b:(鑑賞) 他者の作品の表現の意図と工夫、よさや美しさなどを感じ取り、美術の専門用語を用いながら説明することができる。 c:目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、制作や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	アイデアスケッチ 作品 完成レポート 鑑賞 ワークシート	アイデアスケッチ 作品 完成レポート 鑑賞 ワークシート	活動の様子 鑑賞 ワークシート 学習の記録簿
	1年間を振り返る	・「ポートフォリオ」制作 ・相互鑑賞	c:1 年間の美術での学びを主体的に振り返り、学習の成果や反省点などを見つけようとしている。			活動の様子 学習の記録簿

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度